

Corporate identity

世界中の人々から 常に必要とされる企業を創る

2025年11月期 第1四半期 決算補足説明資料

株式会社トゥエンティーフォーセブン

2025年4月14日



247 twenty-four seven Inc.
株式会社トゥエンティーフォーセブン

■ 2025年11月期 第1四半期決算概要

■ 2025年11月期 業績予想

■ Appendix 出店状況

2025年11月期 第1四半期決算概要

- 2024年5月下旬以降より、NOVA社グループとWEB広告を中心としたマーケティング分野、店舗開発及び施工・メンテナンス分野を優先事項として協業に着手。加えて、現状の売上規模に応じた固定費の削減、変動費の最適化を推進し、現時点においては業績改善傾向にある。

(百万円)	2024/11期 1Q累計期間	2025/11期 1Q累計期間	比較	
			前年同期比	
			差異額	差異率
売上高	619	455	▲163	▲26.4%
売上原価	392	354	▲37	▲9.6%
売上総利益	226	101	▲125	▲55.4%
売上総利益率	36.7%	22.2%		▲14.5pp
販売費及び一般管理費	425	167	▲258	▲60.6%
営業利益	△198	△ 66	+132	-
営業外収益	1	5	+3	+230.7%
営業外費用	3	2	+0	▲24.8%
経常利益	△200	△ 63	+137	-
経常利益率	-	-		-
特別利益	-	-	-	-
特別損失	1	0	▲1	▲98.9%
税引前四半期純利益	△201	△ 63	+138	-
四半期純利益	△213	△ 67	+145	-



- 当第1四半期会計期間において、業績回復・向上策となる低価格の新コースを導入したことに伴い客単価が減少し、売上高が減少。一方で、効率的な販売促進により販管費を抑制したことにより、営業利益以下の各利益段階において赤字額を大幅に圧縮。

(百万円)	2024/11期				2025/11期
	1Q 会計期間	2Q 会計期間	3Q 会計期間	4Q 会計期間	1Q 会計期間
売上高	619	675	650	581	455
売上原価	392	406	406	392	354
売上総利益	226	269	244	188	101
売上総利益率	36.7%	39.9%	37.5%	32.4%	22.2%
販売費及び一般管理費	425	395	293	178	167
営業利益	△198	△125	△49	9	△66
営業外収益	1	4	5	5	5
営業外費用	3	2	2	25	2
経常利益	△200	△123	△46	△10	△63
経常利益率	-	-	-	-	-
特別利益	-	-	-	10	-
特別損失	1	22	-	25	0
税引前四半期純利益	△201	△146	△46	△25	△63
四半期純利益	△213	△157	△57	△7	△67

(百万円)	2024/11期		2025/11期	増減額
	(参考) 1Q末	期末	1Q	
流動資産	742	798	771	▲26
現金及び預金	575	651	627	▲23
売掛金	20	26	23	△3
商品	37	22	20	▲1
貯蔵品	7	0	0	0.0
その他流動資産	101	97	99	1
固定資産	259	227	243	15.0
有形固定資産	31	1	7	5.0
無形固定資産	0	0	3	+3
投資その他の資産	227	226	233	6.0
資産合計	1,001	1,026	1,015	▲11
流動負債	667	596	520	▲75
買掛金	-	+2	-	△2
未払金	93	74	74	+0
未払費用	101	112	90	▲21
未払法人税等	18	14	7	▲7
前受金	403	300	275	▲25
引当金	24	58	27	▲30
資産除去債務	0	9	23	+13
その他流動負債	25	22	21	△1
固定負債	302	282	269	▲13
資産除去債務	299	280	267	▲13
その他	2	2	2	+0
負債合計	969	878	790	▲88
株主資本	32	147	225	+77
純資産合計	32	147	225	+77
負債純資産合計	1,001	1,026	1,015	▲11

第三者割当増資により
資金調達しております。

当社は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響および消費者の行動変容ならびにマーケット環境の変化を受け、前事業年度まで5期連続して売上高の減少ならびに経常損失および当期純損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しております。

そこで当社は「新規顧客数増加のための施策拡充」「既存顧客の維持拡大と新商材での売上拡大」「コストコントロールによる経費削減」等の対策を実施し、当該状況を解消いたします。

当社は借入金の残高はなく、当第1四半期において、2024年11月28日から2024年12月6日を払込期間とした第三者割当による増資の払い込みが完了したことにより、当第1四半期会計期間末において627百万円の現金及び預金を保有しており、資金繰りに重要な懸念はないと判断しております。

加えて、いなよしキャピタルパートナーズ株式会社およびNOVAホールディングス株式会社が親会社となり、両社との資本業務提携契約により、協業による経営成績の改善や、同グループによる当社への資金支援や同グループの信用力による財務基盤の安定化が期待できます。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断いたしております。

2025年11月期 業績予想

2025年11月期の見通しにつきましては、顧客ニーズの多様化に加え、市場競争が激化する中において業績回復・向上を実現させるために、2025年1月より、質の高いパーソナルトレーニングをより気軽に、より低価格で利用いただける新サービスコース（以下、「新コース」といいます。）を本格導入しています。新コースは従来コースと比較して、サービス品質を落とさず大幅なプライスダウンを実現させたことから、幅広い顧客層から多くの支持を得られることを見込んでいます。

一方で、顧客単価の低下が見込まれる新コースにおいて、損益分岐点を上回る顧客数を獲得し、定着させるまでには、一定期間を要することを想定し、継続的な単月ベースでの営業黒字は2025年6月以降を見込んでおり、通期での営業黒字の達成を見込んでおります。

また、第2四半期以降は新業態「FIT（アスレチックジムの中に室型パーソナルトレーニングジムを併設した業態）」の展開や「Real Pilates（完全オーダーメイドのマシーンピラティスを提供する業態）」の出店を計画し、今期の営業黒字を確実なものとしていきます。

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期								
通期業績予想	2,270	△10.2	11	—	5	—	△11	—

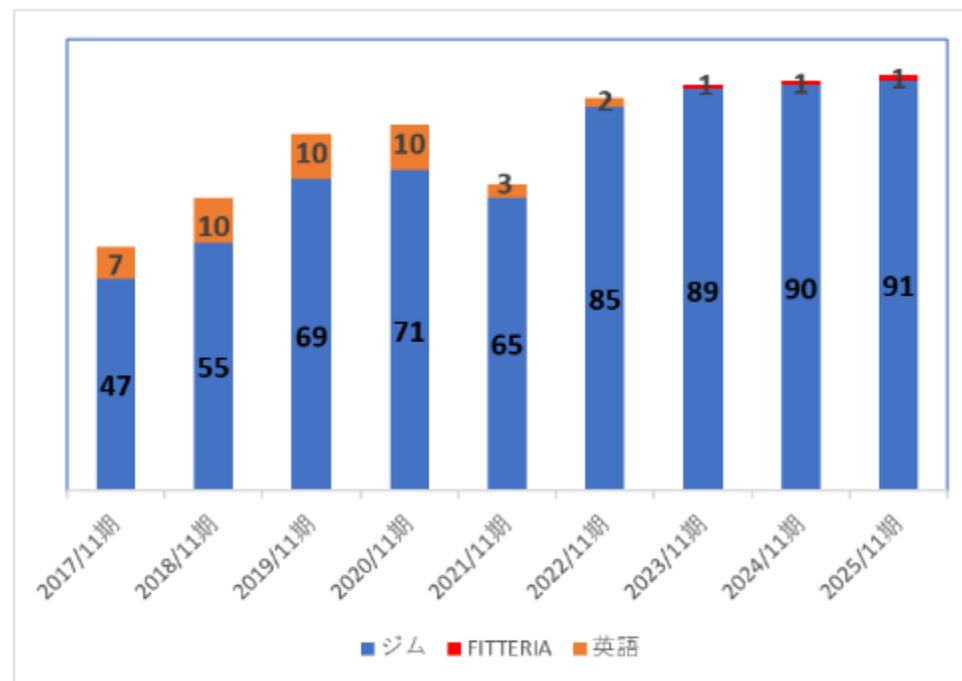
Appendix 出店状況

- 2025年1月にFC郡山店をオープン。

現在の地域別国内店舗網



店舗出店状況



※「24/7English」は、2023年9月1日付にて営業譲渡いたしております。

- 当資料は当社の業績及び経営戦略等に関する情報の提供を目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。
- 当社の将来における事業内容や業績等は、様々な要因により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。

＜お問い合わせ先＞

株式会社トゥエンティーフォーセブン
財務経理部

03-6863-0136

corporate_ir@247group.jp